

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	基準該当放課後等デイサービス マーシ園木の香			
○保護者評価実施期間	R 8 年 1 月 7 日 ~ R 8 年 1 月 1 6 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 名	(回答者数)	1 名
○従業者評価実施期間	R 8 年 1 月 7 日 ~ R 8 年 1 月 1 6 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数)	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 1 月 2 7 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身体障害者を多く受け入れる障害者支援施設において基準該当サービスとして運営している為、機械浴やリフトなどの設備が整っている。	利用者、職員共に負担なく支援できるよう積極的に各設備を利用している。	各設備が対象児童に適応するか否かをアセスメントし、安全に配慮。
2	障害者支援施設において基準該当サービスとして運営している為、成人障害者との関わりの機会を多く持つことができる。学童期からの移行をイメージしてもらいやすい。	成人利用者と同一空間で過ごし、コミュニケーションを図りやすいようにしている。 学習内容を生活介護利用者に見てもらうなど、互いに関わりの機会を持つことができている。	利用時の様子を相談支援専門員や学校などと共有し、より移行イメージをつかんでもらいやすくする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の保護者同士の関わりや活動が行いにくい。	基準該当事業所であり、長期休暇や土曜日などに限った利用となるため実利用が少ない。 今年度は登録利用者が1名、休日の利用であり、他利用者との接点が限られる。	児童の保護者に限らず、支援学校卒業から年数のあまり経っていない利用者の保護者などとの繋がり場の模索したい。
2	個別活動プログラム及び集団活動プログラムの充実が必要。	学童期の支援に関する専門性が不十分。 他の利用者は各々好きな活動などに取り組んでおり、どうしても集団活動の機会が少なくなっている。	研修等の参加により職員のスキル向上。 各活動に参加しやすい環境の整備。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 基準該当放課後等デイサービス マーシ園木の香

公表日 令和8年1月28日

利用児童数 1名

回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			1			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。		1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。		1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年1月28日				
基準該当放課後等デイサービス マーシ園木の香						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1		人員の配置は基準以上を充分満たしているが、支援を必要とする対象者が多く、手が行き届かない状態もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	バリアフリーとなっている。	施設構造上、音や周囲の刺激に配慮が必要な際に個別の環境を設定することが難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃、定期的な4 S 活動など実施	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	短期入所の利用に空きがある場合などには使用が可能。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	全職員が参加する職員会議で課題を確認している。	より体系的に確認できるとよい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			Webアンケートなどを活用し、意見収集及び集計をしやすくするなどの工夫があればよい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	職員会議等で意見収集を行っている。	個別面談などの機会を活用し、まずは意見の収集に注力する必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		前回受審より年数が経過。受審の計画はある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	法人で年2回研修会を開催している他、事業所単位でミニ研修会・講習会を開催している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3		事業所内で公表に関する周知が十分ではない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		個別支援計画の作成にあたり、年に2回本人や保護者からの意向を確認し、ニーズを把握したうえで作成。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		原案をもとに、支援に関わる職員で内容を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	掲示スペースを設け、共有したい内容について閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		日常の支援記録等から確認する程度
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2		利用実績が少なく、十分ではない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2		変化が苦手な場合や、各利用者の個別的配慮によりプログラムが固定されやすい状況にある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		利用日や人数の都合で集団活動が難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	朝礼にて前日の振り返り、伝達事項等確認し	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		福祉支援記録システムを活用し記録、統計など行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	定期的なモニタリング、計画の見直しを行っている。	不定期利用、利用頻度の少ない利用者に対しては見直しのタイミングを逸することがある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		4		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		会議の議題に応じ、状況を把握している者が参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3		積極的に連携を図っているとは言えない状況だが、利用者及びその家族、関係機関からの
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2		要請がある場合、必要と感じた場合はしっかりと連携していきたいと考えている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2		相談支援事業所が把握している内容を確認する程度である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		卒業前に学校が開催する移行支援会議等の場で情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		必要性を感じた時点で検討していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		機会が無い。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		法人より複数部会に参加している他、協議会主催研修会などに参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		特に実施しておらず。提供できる情報がある場合はオープンにしていきたいと考える。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		重要事項説明書を用い、負担額や利用にあたっての注意事項など説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		計画作成時など、本人及び家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		連絡帳などを活用し、困りごとなどあれば相談に応じている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	基準該当事業所であり、長期休暇や土曜日などに限った利用となるため実利用が少なく、保護者同士の交流ができていない。	児童の保護者に限らず、支援学校卒業から年数のあまり経っていない利用者の保護者などとの繋がり場を模索したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		迅速な対応を心がけている。苦情申出窓口の設置、意見箱の設置をしている他、第三者委員会を設置し苦情解決委員会を年4回開催。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	年2回法人の広報誌、年4回事業所の広報誌を発行している他、ホームページに行事の様子などブログを公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		利用契約時に個人情報保護に関する説明を行っている。また、広報等写真掲載の可否なども確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	法人他事業所の建設工事が今年度は開催できず。	開催できるよう検討していきたい。 地域連携推進会議を予定しており、開かれた運営に努めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		非常災害等緊急時の対応についてマニュアルが策定されている他、定期的に訓練等実施している。	利用者及び家族への周知ができると尚良い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用受入時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		現在該当事例なし	医師から直接指示を受けることはできていないが、家族や支援者を通じ医師からの指示や情報を取得したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		研修や訓練、マニュアル作成など行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		取り組み内容の周知ができておらず、年に1回以上書面等で案内する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		報告及び対応策を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に内部、外部研修に参加し適切な対応ができるよう努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		利用開始時に説明を行っている。	